

一西だより

豊川市立一宮西部小学校通信

令和6年10月18日 第21号

発行；校長 村上謙一

開催決定！

マラソン大会については、学習指導要領に示された教育課程や、子どもの負担等を考えて廃止してはどうかと教職員は考えました。しかし、「こども、まんなか」を標榜する本校だからこそ、開催するかしないかについて子どもに決定権をもたせようと考えました。与えられるのではなく、当事者としてマラソン大会をとらえるのです。子ども（5・6年生）には好き・嫌い、得意・不得意ではなく、10年後の社会で生きていくために必要な力に焦点を当てて、ウェルビーイングな思考でマラソン大会開催の可否を考えてもらいました。

子どもたちは「マラソン大会開催」の方針を立てました。内容はウェルビーイングな競技会となるよう継続検討中です。「やって楽しむ かかわって楽しむ 見て楽しむ」というスポーツ本来の楽しみ方を踏まえて、全員が走る今までの形を改めて、「やって楽しむ」を選んだ児童のみの競技会になりそうです。そのため、これまでのように勝敗がはっきりするわかりやすい競技会にはならないようです。どんな形であっても、子どもたちが考えた最適解を尊重し、その運営を支えるのが大人の役割と考えます。保護者の皆様のご理解とご協力をお願いします。

現在決まっていることをお示しします。

1. マラソン大会を開催する

低学年は従来の形式 中・高学年は駅伝形式

2. 期日 12月3日(火)

雨天等の予備日12月5日(木)、以降は中止

3. 競技時間の目安

8:45~12:25の時間帯で、低学年→中学年→高学年の順に競技する

4. その他 詳細は決まり次第改めてお知らせします。

保護者・地域の皆様の参観が可能です。無理のない範囲でご参観ください。

【これまでの経緯と子どもたちの声】

7月 6年生が全学級でディベート形式の討論会を行う。テーマは「10年後の社会で生きていく力をつけるために、マラソン大会は必要か」ディベートの結果は3学級とも「廃止」の論が優勢。

9月 5年生が全学級で同様の取組を行う。ディベートの結果は3学級とも「引き分け」。

9月 5・6年生各学級の代表児童16名が実行委員会を組んで、マラソン大会を開催するか廃止するか、開催するならどのような形式にするかを毎週何度も集まり、話し合いを重ねる。

【開催すべき理由】

- ① 体力がないと困る
- ② 嫌なこともがんばる心が必要だ

【廃止すべき理由】

- ① 苦手な人にとってはどうするとよいのか
- ② 順位が付くことでさらに苦手な人が生まれる

【解決すべき課題】

- ① 低学年のともだちにはどんな形が良いのか想像がつかない。低学年の先生たちの考えも聞いて決めたい。
- ② 安全面から学校の中でコースを設定したいができるのか。

10月17日(木) 実行委員会が左記1, 2, 3, 4に示した形式での開催を決定する。一西だよりで保護者に決定事項をお知らせする。

11月12日(火) 児童総会でマラソン大会の開催と競技形式の詳細を全校集会で発表する。かけあし運動開始~12/2

12月 3日(火) 新マラソン大会開催

今年の一西小の教育目標は「こども、まんなか」。こどもをまんなかにおいて、これまで当たり前を問い直しています。来年度のチーム担任制実施もこの方針の結果です。今年のマラソン大会について高学年の子どもたちが取り組んだ上記の過程もこの方針を具現化したものです。

マラソン大会は大きな達成感がある一方で、苦手な子どもにとっては大変なストレスがかかることも否めません。これを克服していくことが尊い経験になるのですが、すべての児童にとって当てはまるわけではありません。ここにジレンマがあります。世の中はジレンマを抱えつつ、対話を通して最適解を探して進んでいます。低学年と中・高学年で競技形式を変えることなどは、子どもらしい考えだなあと感心しています。当日の運営は多少の混乱があるものと思いますが、この取組が子どもたちの貴重な経験となるよう新マラソン大会を保護者・地域・教職員の三位一体で支えたいと思います。

